

12月定例記者会見 市長原稿要旨

はじめに、『市民フォーラム 公共施設を考えよう』に関する情報提供です。

これからの社会の担い手である“高校生”を中心に、「新たな公共空間」について考えていただきたく、市民フォーラムを令和5年2月3日(金曜日)に竜ヶ崎第二高等学校で開催します。

昭和50年代後半から平成初期にかけて集中的に整備してきた小中学校などの公共施設が、これから一斉に更新時期を迎えることが見込まれております。

施設を維持していくためには多額の費用がかかることから、本市では公共施設等総合管理計画を定め、施設の総量削減などの「公共施設の再編成」を推進しています。

一方で、社会経済情勢の変化や多様なライフスタイルへの対応など、市民にとって必要な機能は維持・向上させていかなければならないという側面もあります。

「公共施設の量は減らし、質は向上させる」。この難題は行政だけでは解決できないため、利用者の意見や民間事業者のノウハウを十分活用した、「新たな公共空間」を創造していく必要があります。

多くの市民の皆さんが、このイベントに参加することで、公共施設の現状や、これからの公共施設のあり方に興味を抱いていただければうれしく思います。

次に、『地域の市長室』に関する情報提供です。

このたび、本市では市長自ら足を運び地域の皆さんの声を直接聴く「地域の市長室」を令和5年1月からスタートします。

これまでは、「かたらい広場」という制度のもと、参加者には市役所まで足を運んでいただき開催してきました。

新たな「地域の市長室」では、一人でも多くの皆さんの声を聴きたいとの思いから、市長である私が自ら地域へ出向き、お一人お一人の声をお伺いします。

今回はスタートにあたり、制度の周知も兼ねて「地域の市長室」を令和5年2月4

日(土曜日)に龍ヶ崎西コミュニティセンターと八原コミュニティセンターで開催します。

今後も、地域に足を運び、多くのみなさんの声をお聴かせていただければと考えております。

次に、『3代目「まいりゅう号」の出発式』に関する情報提供です。

このたび「まいりゅう号」のデザインリニューアルにあわせ、3代目「まいりゅう号」の出発式を、関東鉄道株式会社ご協力のもと、令和5年1月28日(土曜日)午前8時40分から関東鉄道竜ヶ崎線竜ヶ崎駅ホームで開催します。

3代目となる「まいりゅう号」は、本市の認知度およびイメージ向上を図るとともに、本市のマスコットキャラクター「まいりゅう」が生誕10周年を迎えるにあたり、皆さんにもっと知ってもらえる・愛されるキャラクターになれるよう、との思いがあります。

さらに、龍ヶ崎の未来を担う若い世代のまちへの愛着や誇りといったシビックプライドの醸成^{じょうせい}を図るため、市内の高校生の皆さんに車両のイラストの制作をお願いしました。

当日、お披露目される3代目「まいりゅう号」を楽しみにお待ちください。